

事業名		地すべり対策		路河川名等	(地)茂田井					
事業毎の通番		1	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	茂田井(もたい)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2 ① 災害に強い県づくりの推進			SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	第3期長野県強靱化計画			関連する事業プロジェクト	なし				
	現状と課題	茂田井地区は、長野市西部に位置し、保全対象として人家、市道及び避難場所となる公民館を有し、これまでも地すべり対策工事が施されてきた。しかし、令和5年5月の降雨により①新たに地すべり性の変状②当初想定していたすべり面より深い位置で変動が確認された。今後の地すべり活動の活発化及び地すべりブロック拡大の恐れがあるため、地すべり対策を実施したい。								
	事業目的	本事業により地すべり対策工を実施し、土砂災害を未然に防止する。								
着手年度		2024年度(令和6年度)		事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完了年度(予定)		2029年度(令和11年度)					国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容		横ボーリング工 L=2,165m(7群)、水路工 L=300m			400,000	200,000		160,000	40,000	
事業概要										
事業効果	主な受益対象	人家13戸、中内公民館(指定緊急避難場所)、市道				費用便益比(B/C)		3.2		
	期待される効果	災害時における防災機能の強化(地域の主要路線) 住民の防災意識の向上、安全・安心による人口維持				※B=便益、C=費用				
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	地域の重要なインフラ施設(公民館及び消防団詰所、浄水場、市道)が保全対象となっており、保全対象となる市道はバス路線になっていることから、将来的にも十分な効果が見込まれる								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	R5.5月にAブロックにおいて顕著な地すべり活動が確認された経過があり、区域内の未対策ブロックにおいて湧水等地すべり兆候が認められていることから、地すべりの対策を望む地元要望がある。								
	事業説明等の経緯	地すべり兆候が確認されていることなどから、地元より地すべりの対策へ強い要望があり、すでに地元役員へ事業への協力について了解を得ている。区長及び地元役員に対して年度始めの5月頃に事業説明を実施している。								
評価結果	所管課の意見	当箇所では地すべりに伴う市道のクラックなど地すべり兆候が多く確認され、地すべり活動が活発化すると人家へ地すべり土塊が押し寄せる直接被害の発生への恐れがある。保全対象である茂田井地区の人家13戸を地すべりによる被害から守るため、早期に事業を実施する必要がある。					妥当性評価※	優先度評価※		
	コンプライアンス・行政経営課の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。					○	4.3		
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)